

平成 21 年 4 月 30 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18510038

研究課題名（和文）再生可能エネルギーの革新的普及制度のあり方についての経済学的研究

研究課題名（英文）A Study on innovative diffusion policy of renewable energy

研究代表者

大島 堅一（OSHIMA KENICHI）

立命館大学・国際関係学部・教授

研究者番号：00295437

研究分野：環境経済学

科研費の分科・細目：

キーワード：再生可能エネルギー、エネルギー政策、環境政策、環境経済学

1. 研究計画の概要

アメリカ、EU 各国（ドイツ、スペイン、デンマーク、イギリス等）で実施されている再生可能エネルギー普及施策を効率性と実行可能性の観点から比較検討し、効果的制度に必要な要素を抽出する。加えて、新しい環境経済政策手段として再生可能エネルギー普及政策を位置づけ理論化する。

具体的には、第 1 に、米国各州で 1990 年代から実施されている Renewable Portfolio Standard（RPS：再生可能エネルギー基準）の実施状況を検討し、効率性と実行可能性の観点から評価する。第 2 に、EU 各国のうち特に先進的な取り組みとして知られるドイツを中心に、再生可能エネルギー普及政策の詳細ルールの内容を検討し、効率性と実行可能性の観点から、再生可能エネルギー普及政策を評価する。第 3 に、第 1、第 2 の検討結果を踏まえ、再生可能エネルギー普及政策を新しい環境経済政策手段として位置づけ、その基礎理論を開発する。

2. 研究の進捗状況

次の通り、研究を行っている。

(1) アメリカ各州の RPS 制実施について

テキサス州を中心に、RPS 制の文献、資料調査を実施している。まず、RPS 制の具体的な仕組みについて把握した上で、効率性については RPS 制のもとで発効されている REC（再生可能エネルギークレジット）価格の推移について分析を一定程度行った。ただし、近年のものは公表されておらず、また、ブローカーからも情報提供がえられなかったため、公表されている時期に限定されている。

(2) ヨーロッパ、特に、先進的な取り組みで注目しうるドイツの固定価格制について文献調査を実施した上で、経済団体、環境 NGO、風力発電業界、太陽エネルギー業界、環境省、電力会社にヒアリングを行い、再生可能エネルギー普及の効果についての知見が得られた。この中で明らかになったのは、ドイツでは制度が巧みに改変され、より効果的なものになっているということである。

また効率性に関しては、再生可能エネルギー価格の低下が予想されており、かつ経済的利益もでていることから、非効率なものにはなっていないと考えられる。特に気候変動問題の費用を考慮すれば、社会的には効率的な制度といえる。

(3) 再生可能エネルギー普及政策の理論的検討については、既存研究を基礎にしつつ、(1)、(2)で新たな知見を加えて整理を行った。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

アメリカ、ヨーロッパ（ドイツ）の文献、実態調査を行い、効率性と再生可能エネルギー上の効果を把握できている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) アメリカ各州については、世界の趨勢が RPS から固定価格制へと移りつつあること、ほとんどの情報が公表されていることから、文献調査を行うにとどめ、必要な場合は電子メールなどの手段を通じて情報を補完する。
(2) 欧州については、最も効果的制度と評価できるドイツが 2009 年から新しい法律の下で再生可能エネルギー普及政策を進めてい

ることから、特に、この新しい制度について調査を進め、所期の目的を十分に達するようにしたい。そのため、可能な限り、欧州調査を実施する。

(3) これまでに得られた知見を集大成し、書籍として出版する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

大島堅一、「EUにおける再生可能電力指令策定の経緯と意義」、『立命館国際研究』、第19巻1号(66号)、2006年、1-19頁、査読無

大島堅一、「新しい環境経済政策手法としての再生可能エネルギー支援政策」、『立命館国際研究』、第19巻2号(67号)、2006年、29-49頁、査読無

大島「再生可能エネルギー普及に関するイギリスの経験 - 競争入札制の仕組みと実際 - 」、『立命館地域研究』第25号、2007年3月、1-18頁、査読無

「再生可能エネルギー普及に関するドイツの経験 - 電力買い取り補償制の枠組みと実際 - 」、『立命館大学人文科学研究紀要』、第88号、2007年3月、71-97頁、査読無

David Toke and Kenichi Oshima, “Comparing market based renewable energy regimes: the cases of the UK and Japan”, 『*International Journal of Green Energy*』 Vol.4 No.4, 2007年、pp.409-425、査読有

大島堅一、「欧州における再生可能エネルギー政策の展開」、『公共政策研究』(公共政策学会)、第8号、2008年、51-62頁、査読有